

第22回ヨネックスカップテニス九州大会

【No.1 宮田弘美】

私にとって3回目、最後のチャレンジ杯になりました。毎年この機会を用意・お世話して下さるヨネックスと女子連の方々に感謝します。今回のチームはいつも一緒に練習する仲間、拙いリーダーをたくさん助けてくれました。そして何より一番支えてくれたのはペア、本当にありがとう。未だ思うようなプレーができず悔しい限りですが、一方で自信を持てたこと、見えてきたこともあります。不器用ながらも次の目標に向けて更に練習を重ねていきます。

【No.1 有田淳子】

今回が初めての九州大会でした。

試合は、相手のパワフルなショットに防戦一方になり、なかなか思い切ったプレーができず、ペアやチームに貢献出来なかったことが残念でした。懇親会では、他県選手やヨネックススタッフの方々のこの大会への想いを聞き、改めて出場できた喜び、チームのメンバーや携わってくださった女子連など関係者の方々への感謝の気持ちでいっぱいになりました。ありがとうございました。

【No.2 川原広美】

ヨネックスチャレンジカップで、はじめて長崎代表を経験させて頂きました。代表のみんなと練習を重ね挑み、結果は7位。試合では悔しさと課題が多く残りましたが、懇親会や宿泊などとても楽しい充実した時間を過ごすことができました。女子連のみなさんはじめ、たくさんの先輩方からアドバイスや練習をして頂き、大変感謝しております。ありがとうございました。また、日頃から協力してくれている家族にも感謝です。

テニス大好き！これからも練習頑張ります。

【No.2 児島聡子】

今回ヨネックスカップテニス九州大会に初めて出場させていただきました。団体戦でしたので一致団結の気持ちで試合に臨みました。ペアの川原さんと話し合いながら頑張りましたが、九州代表の方々はミスが少なく配球も上手く、自分の力不足もあり結果は7位に終わりました。この貴重な経験から課題も沢山見つけましたので、これからまた練習頑張ります。試合に出るにあたり、ご指導いただいた女子連の皆様方、一緒に練習して下さった方々に心より感謝しております。ありがとうございました。

【No.3 大戸真弓】

ダブルス3ペアの団体戦で、ペアや仲間と声を掛け合いながら5試合を戦いました。他県の選手との試合を通して、技術や試合の進め方、戦略など多くのことを学びました。また、子供達が県代表としてプレーした熊本パークドームのコートに、私も立ちたいと思っていたので、その願いが叶いました。この経験を今後のプレーに生かせるように、努力を続けていきます。大会まで練習に付き合ってくくださった皆さんに心から感謝しています。

【No.3 下川真有美】

今回は、いつも一緒に練習している仲間と行けて、チーム団結さを強く感じた思い深い試合となりました。納得行く試合ではなかったですが、この悔しい気持ちを心に残し、一歩ずつ前に踏みしめて、いつか自分が思い描いている目標を、達成できるようこの経験を活かしたいと思います。最後に、運営していただいたヨネックスの方たち、女子連の方たち、一緒に挑んだ仲間、そして何よりペアの大戸さんに心から、ありがとうございました。